

介護料受給者等のアンケート結果に おける老朽化対策に係る主なニーズ について

1. 大部屋における男女別病床

- ① ワンフロア病棟システムについて、気になっている有無
- ② ワンフロア病棟システムについて、気になっている内容
- ③ 男女別の病床があれば、利用したいか

2. 長期入院におけるリハビリテーションの充実

- ① 療護センターで治療・看護を受けて良かったところ
- ② 療護センターでの新たな取り組みの有無
- ③ 療護センターで新たに組みんでもらいたい内容

3. 退院後のリハビリテーション

- ① 療護施設に再度リハビリ目的で入院することの希望の有無
- ② 再度リハビリ入院する際の入院期間
- ③ 再度リハビリ入院する際の頻度
- ④ 短期入院中に受けたリハビリと、今後期待するリハビリの相違
- ⑤ 現在のリハビリと再度リハビリ入院時に期待するリハビリ
- ⑥ 短期入院でリハビリを受けた患者が、再度リハビリを受けることの希望

4. 再入院時における要望（リハビリ以外）

- ① 退院後に体の状態を把握することの要望
- ② 再度入院する場合のリハビリ以外の希望

5. 療護センターに必要とする施設

① ワンフロア病棟システムについて、気になっている有無

	ない		ある		回答無し		回答者数	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
長期Q3-5	95	89.6%	10	9.4%	1	0.9%	106	100.0%
短期Q2-7	35	76.1%	11	23.9%	0	0.0%	46	100.0%
介護Q2-8	218	83.8%	20	7.7%	22	8.5%	260	100.0%

注) 介護Q2-7～9は、
介護料受給者のうち、短期入院経験者

② ワンフロア病棟システムについて、気になっている内容

	プライバシー	感染対策	看護・介護	声・臭気等	他の家族等	個室が良い	ワンフロアを評価	その他
長期Q3-6	6	2		1				
短期Q2-8	1	1			1	5	1	2
介護Q2-9	2	4	3	2	2		2	1

※自由記載の設問

③ 男女別の病床があれば、利用したいか

	利用したい		利用したくない		どちらとも いけない		回答無し		回答者数	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
長期Q3-4	31	29.2%	1	0.9%	73	68.9%	1	0.9%	106	100.0%
短期Q2-6	5	10.9%	1	2.2%	39	84.8%	1	2.2%	46	100.0%
介護Q2-7	57	21.9%	9	3.5%	173	66.5%	21	8.1%	260	100.0%

アンケート結果を踏まえた考察

- ワンフロア病棟システムについて気になっているところがあるとする意見は少ないが、ベッドサイドで会話が他者に聞こえるなどによりプライバシーや個室を求める声は存在する。
 - ワンフロア病床は看護師の目が行き届くなどの良い面が評価されており、ワンフロア病床自体を否定するのではなく、患者の病状や家族の面会等シチュエーションに応じたプライバシーへの配慮が求められている。
- 男女別病床について3割程度が利用したいとする一方で、約7割が判断できないとしている。短期入院利用者の介護者等は、長期入院患者の介護者等や介護料受給者と比較して、男女別病床の利用希望が最も少ない。
 - 療護施設を数多く利用している短期入院利用者の介護者等はワンフロア病棟システムの運用をよく知っていることを踏まえると、ワンフロア病床において患者配置の工夫などで配慮されていれば、必ずしも男女別病床を設ける必要があるとはいえない。

① 療護センターで治療・看護を受けて良かったところ

	看護		診療		家族サポート		リハビリ		職員		MSW		その他		回答者数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
長期Q3-1	40	37.7%	24	22.6%	19	17.9%	18	17.0%	12	11.3%	2	1.9%	13	12.3%	106
短期Q2-3 (療護施設 経験者)	17	37.0%	8	17.4%	16	34.8%	6	13.0%	2	4.3%	1	2.2%	13	28.3%	46

※自由記載の設問

② 療護センターでの新たな取り組みの有無

	ない		ある		回答無し		回答者数	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
長期Q3-2	74	69.8%	29	27.4%	3	2.8%	106	100.0%
短期Q2-4 (療護施設 経験者)	22	47.8%	19	41.3%	5	10.9%	46	100.0%

③ 療護センターで新たに組みんでもらいたい内容

	看護	診療	家族サポ ート	リハビリ	職員	MSW	その他	回答者数
	長期Q3-3	0	4	7	7	0	1	11
短期Q2-5 (療護施設 経験者)	0	2	1	10	0	0	6	19

※自由記載の設問



再生医療、電気刺激治療等の可能性がある治療にトライしてもらいたい。

アンケート結果を踏まえた考察

- 長期・短期入院者の介護者等から、療護センターの治療、看護、リハビリテーション等は評価されている。
- 長期・短期入院者の介護者等から、再生医療、電気刺激治療等の可能性がある治療に対する期待が大きい。特に、短期入院者の介護者等から、リハビリを受けたいとの希望が多い。

① 療護施設に再度リハビリ目的で入院することの希望の有無

	希望する		希望しない		回答無し		回答者数	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
短期Q5-1	38	82.6%	6	13.0%	2	4.3%	46	100.0%
介護Q3-1 (療護施設 経験者)	183	70.4%	70	26.9%	7	2.7%	260	100.0%
介護Q4-1 (療護施設 未経験者)	280	45.8%	---	%	---	%	611	100.0%

注) 介護Q4-1：受けたいリハビリ内容を尋ねるアンケート項目であり、希望の有無を尋ねるものではなかったが、具体的なリハビリ内容の記述があった場合に入院を「希望する」とした。

② 再度リハビリ入院する際の入院期間

	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	6ヶ月	その他	回答無し	回答者数
	短期Q5-3	18	2	4	1	3	10	8
介護Q3-3 (療護施設 経験者)	64	9	34	---	28	39	86	260

③ 再度リハビリ入院する際の頻度

	3ヶ月に1回	半年に1回	1年に1回	その他	回答無し	回答者数
	短期Q5-4	13	9	7	9	8
介護Q3-4 (療護施設 経験者)	54	39	21	41	105	260

④ 短期入院中に受けたリハビリと、今後期待するリハビリの相違

	関節可動域 訓練	座位訓練	立位訓練	筋力増強訓 練	日常生活動 作訓練	嚥下訓練	その他	回答者数
短期Q4 - 2 (受けたリハビリ)	20	5	2	1			12	40
短期Q4 - 6 (希望のリハビリ)	12	8	7	1	3	10	20	37

※自由記載の設問

⑤ 現在のリハビリと再度リハビリ入院時に期待するリハビリ

	関節可 動域訓 練	歩行訓 練	座位訓 練	立位訓 練	高次脳 機能訓 練	筋力増 強訓練	嚥下訓 練	日常生 活動作 訓練	発声訓 練	車椅子 乗降訓 練	失語症 訓練	呼吸訓 練	その他	回答者 数
介護Q5 - 2 (現在のリハビリ)	381	198	174	164	98	89	88	80	60	45	35	19	30	880
	43.3%	22.5%	19.8%	18.6%	11.1%	10.0%	10.0%	9.1%	6.8%	5.1%	4.0%	2.2%	3.4%	---
介護Q3 - 2 (再入院時に 希望のリハビリ)	109	54	82	61	59	41	34	84	36	23	23	12	7	260
	41.9%	20.8%	31.5%	23.5%	22.7%	15.8%	13.1%	32.3%	13.8%	8.8%	8.8%	4.6%	2.7%	---

⑥ 短期入院でリハビリを受けた患者が、再度リハビリを受けることの希望

	思う		思わない		回答無し		回答者数
短期Q4 - 5	31	96.9%	0	0.0%	1	3.1%	32
介護Q6 - 7	105	89.7%	4	3.4%	8	6.8%	117

アンケート結果を踏まえた考察

- 短期入院者の介護者等・介護料受給者のいずれにおいても、療護施設に再度入院してリハビリを受けたいとの希望が多い。
- 再度入院する期間は1～3ヶ月、頻度は3ヶ月～1年に1回との希望が多い。
- 短期入院者が短期入院で受けているリハビリと、介護者等が希望する内容については異なる点があり、『嚥下訓練』、『日常生活動作訓練』は現在受けられていない一方で期待が強い。また、『立位訓練』や『座位訓練』でも乖離がみられる。
- 介護料受給者で現在受けているリハビリと、再入院時に希望するリハビリとは異なる点が見られる。特に、『日常生活動作訓練』、『高次脳機能障害』の項目で乖離が見られる。
 - 在宅で受けられないリハビリや、在宅で実施しにくいリハビリについて、療護施設でリハビリを受けたいというニーズが高い。
- 短期入院でリハビリを受けたことがある場合、再度リハビリを希望している。
 - 短期入院時のリハビリは評価されている。

① 退院後に体の状態を把握することの要望

	高度先進医療機器（PETやMRI）を用いた精密検査		健康診断		定期的に機能レベル（ナスバスコア）の確認		回答無し／必要なし		回答者数	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
短期Q 5 - 5	27	58.7%	24	52.2%	16	34.8%	6	13.0%	46	100.0%
介護Q 3 - 5 （短期入院経験者）	109	41.9%	93	35.8%	76	29.2%	53	20.4%	260	100.0%
介護Q 4 - 3 （短期入院未経験者）	174	28.5%	158	25.9%	137	22.4%	241	39.4%	611	100.0%

② 再度入院する場合のリハビリ以外の希望

	脳検査	健康診断／その他の検査	車いすの調整	装具等の調整、修理	新しいリハビリ機器の情報	在宅介護の相談	社会福祉制度等の相談	特に無し	その他	回答者数
短期Q 4 - 7	15	6	12	0	5	3	1	0	3	30
介護Q 6 - 9 （短期入院経験者）	36	19	18	6	14	9	7	8	18	90
介護Q 6 - 9 （短期入院未経験者）	18	3	4	0	6	5	4	1	11	35

※自由記載の設問

アンケート結果を踏まえた考察

- 退院後に希望することとして、療護センターの長期・短期入院者の介護者等・介護料受給者のいずれも回答の傾向が変わらず、『高度先進医療機器を用いた精密検査』、『健康診断』、『定期的に機能レベルの確認』の順となり、体の状態を把握したいとの希望が多い。
 - 退院後に体の状態を把握したいとの希望が強く、特に外形的に分からない専門的な検査のニーズが高い。
- 再入院時には、上記の体の状態把握に加え、『車いす等の調整』や『在宅介護や社会福祉制度等の相談』を求める希望が多い。
 - 退院後において、車いす等を調整することや、在宅介護や社会福祉制度等について相談する機会が限られていることが示されている。

① 療護センターの施設として希望するもの

	患者と一緒に散歩できるスペース		面会の際に他の患者家族と交流できるスペース		面会の際に利用可能な宿泊施設		面会室（他の患者を気にせず会話できるスペース）		その他		回答者数	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
長期Q3-7	56	52.8%	50	47.2%	36	34.0%	36	34.0%	6	5.7%	106	---
短期Q2-9	27	58.7%	22	47.8%	17	37.0%	15	32.6%	2	4.3%	46	---
介護Q2-10 (短期入院経験者)	95	36.5%	84	32.3%	121	46.5%	78	30.0%	18	6.9%	260	---



【主な「その他」の意見】

長期Q3-7「その他」：

『添い寝ができる個室』 1件、『病室内を見られるモニター』 1件、『携帯電話の使用』 1件

短期Q2-9「その他」：

『売店』 1件、『院内外泊スペース』 1件

介護Q2-10「その他」：

『喫茶・軽食コーナー、売店、食堂』 5件、『休憩場所』 6件、『屋根付きの外気浴場所』 2件、『患者と一緒に食事を取れる場所』 1件、『バリアフリーの宿泊施設』 1件

アンケート結果を踏まえた考察

- 療護センターの長期・短期入院者の介護者等においては、回答の傾向が変わらず、『患者と一緒に散歩できるスペース』、『面会の際に他の患者家族と交流できるスペース』、『面会の際に利用可能な宿泊施設』、『面会室（他の患者を気にせず会話できるスペース）』の順で、いずれも希望が多い。
 - 介護者等は患者とともに過ごせる機会を希望しているとともに、家族間同士の交流を求めている。
- 介護料受給者において、『面会の際に利用可能な宿泊施設』の回答が最も多くなっている。
 - 介護料受給者にとって、療護センターを利用する際に施設内か近隣に宿泊施設を求めている。
- そのほか患者家族向けの施設として、『食堂・売店等』や『休憩場所』の要望がある。